

平成31年度 国保税の税率等決定 国保税賦課額は前年に比べ2・3%増

国民健康保険（国保）税は、加入者の医療費や後期高齢者の医療費を現役世代から支援する費用、および介護保険サービス・介護予防事業の費用に充てられる大切な財源です。昨年度から国保事業が県単位化され、兵庫県も保険者と位置付け本市と共に国保運営を行っています。

本年度の国保税の算定に当たり、前年度繰越金の2分の1相当額の1億4千万円を国保税軽減に活用するとともに、財政調整基金を8千万円取り崩した結果、1人当たりの国保税賦課額は、前年度に比べ2・3%の増となりました。

国保税
＝
①医療分
＋
②支援金分
＋
③介護分

1世帯当たりの 国保税額の決まり方

国保税は①医療保険分（以下「医療分」）、②後期高齢者等支援金分（以下「支援金分」）、③介護納付金分（以下「介護分」）。40歳以上65歳未満の方

- ①医療分（1年間に予想される医療費の総額から算定）
県が算定した医療分納付金の額から、国・県補助金等を差し引いた額を国保税として負担します。
- ②支援金分（国が定める後期高齢者医療費の額から算定）
県が算定した後期高齢者支援金分納付金の額から国・県補助金等を差し引いた額を国保税として負担します。
- ③介護分（国が定める介護費

用 の 額 か ら 算 定

県が算定した介護分納付金の額から、国・県補助金等を差し引いた額を国保税として負担します。

《平成31年度の課税区分ごとの税率》

課税区分	医療分	支援金分	介護分
所得割（所得）	4.66%	2.49%	2.70%
資産割（固定資産税）	8.78%	4.64%	7.24%
均等割（被保険者数）	18,600円	9,500円	12,900円
平等割（1世帯につき）	14,100円	7,200円	6,700円
賦課限度額	610,000円	190,000円	160,000円

納税義務者は世帯主

世帯主が国保加入者でなくても、世帯内に国保加入者がいれば、世帯主が納税義務者となります。

賦課限度額の見直し

医療分の賦課限度額の見直しが行われ、現行58万円が61万円に引き上げられました。

国保税の軽減・減免制度

軽減制度

▼低所得世帯に対する軽減
前年の所得金額により、次の金額以下の世帯》

区分	現行	改正後
7割軽減	33万円	現行どおり
5割軽減	33万円＋（27.5万円×被保険者数）	33万円＋（28万円×被保険者数）
2割軽減	33万円＋（50万円×被保険者数）	33万円＋（51万円×被保険者数）

▽国保税の軽減判定

国保から後期高齢者医療制度へ移行することで、世帯の国保被保険者が減少しても、従前どおり後期高齢者の所得および人数も含めて軽減判定を行います。

▽平等割の軽減

国保から移行した後期高齢者と同じ世帯に属する国保単身世帯について、医療分と支援金分の平等割を移行した月から5年間は2分の1、その後3年間は4分の1を減額します。

▼非自発的失業者に対する軽減（離職した月の翌年度末分まで）

解雇や倒産などで、非自発

のような世帯は、均等割額および平等割額を軽減します。なお、5割軽減と2割軽減の判定基準が緩和されました。

▼後期高齢者医療制度への移行に伴う激変緩和措置

後期高齢者医療制度への移行に伴って、同じ世帯に属する被保険者の国保税が過大とならないよう、次の措置を講じます。

的な離職を余儀なくされた国保加入者について、国保税算定に用いる前年所得のうち、給与所得を100分の30に減額して計算します。詳細は、市民課国保医療係に問い合わせてください（申告書の提出が必要です）。

減免制度

▼災害・廃業・生活困窮世帯に対する減免

災害・廃業・生活困窮などで国保税を納めることが困難となった場合、その程度に応じて国保税の一部が減免される場合があります。詳細は、税務課市民税係に問い合わせてください。

▼被用者保険等の被扶養者が国保被保険者となったことによる減免(当分の間)

75歳になる方が、被用者保険などの被保険者（本人）から後期高齢者医療制度に移行し、その被扶養者（65歳以上）が国保に加入した場合、所得割・資産割が免除され、均等割と平等割が2分の1に軽減されます。詳細は、市民課国保医療係に問い合わせてください

（申請書の提出が必要です）。

国保税を長い間滞納すると

特別な事情もなく国保税を長い間滞納すると、被保険者証を返還していただき、代わりに「被保険者資格者証」を交付することになります（ただし、高校生以下の加入者については6カ月の短期保険証を交付します）。この場合は、医療費を一度、全額自己負担していただき、後日、申請により保険給付分を支給することとなります。

経済的な事情で納付が困難な方は、早めに税務課収税係に相談してください。

《問合せ》

- ・申告・課税：税務課市民税係 ☎21-9045
- ・納税方法：税務課収税係 ☎23-1118
- ・医療・給付：市民課国保医療係 ☎21-9061



玄武岩の玄さんが堅いテーマも柔らかく解説

豊岡のここには目じゃ！52

市立歴史博物館リニョール



歴史博物館に行ったら、ずいぶん変わって、かわいい絵がいっぱい飾ってたよ。

そうそう、展示の様子がずいぶん変わったじゃろ。豊岡、城崎、竹野、日高、出石、但東の豊岡市全体をもっとたくさん紹介したいと思っ

でも何でこんないっぱい絵を飾ったの？

歴史を紹介するのに、昔のいろいろな生活の道具なんかを展示しているんじゃないか



▲大昔の神鍋高原の暮らし

が、それをたくさんの方の文章で説明するより、そのころの生活の様子を、絵にして見てもう方が、分かりやすいと思っ

でも、いったいだれが描いたの？

博物館の職員が描いたんじゃない。豊岡の文化財を調査している専門職員や、絵の得意な職員が一緒になって、大昔の様子から、出石や豊岡にお侍さんがいたころ、竹野の港町、城崎の温泉町、但東の大きな庄屋さんのお屋敷の様子なんかを、みんなにも分かりやすい、絵本のような絵にして描いたんじゃない。

そういうええ、絵の中にタマとチュー太郎を見つけ

たよ。それは見事じゃ。実は絵の中でこっそり、ネコとネズミが追いかけてるんじゃない。中にはしつぽしか

見えない絵もあるから、全部見つけるのは難しいぞ。

そういうええ、昔の暮らしのコーナーもあったわ。

みんなのおじいさんやおばあさんが生まれたころの茶の間を、市民学芸員の皆さんが再現してくれたんじゃない。ちやぶ台の前で記念写真も撮れるぞ。

じゃあ、今度は古代の衣装を着て、写真を撮って、もう一つもりだから、一緒にそっちの写真も撮ってくるわ。



▲昔の茶の間を再現